

第34回(令和5年度)手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)

「聞取り通訳試験」問題

第1問

【通訳場面の説明】

手話サークルの集まりです。会員が趣味の「システム手帳」について語ります。

【問題文】

今、こちらに並べてあるのが私のお気に入りのシステム手帳です。今日持ってきたのは、ほんの一部です。大きいものから順に、これはA5サイズ、バイブルサイズ。さらに小さいサイズの手帳もあります。リングの穴が6つあるのがミニ6、5つあるのがマイクロファイブです。

システム手帳はその用途によって大きさを選ぶといいのですが、リングの大きさも重要です。このM5、あ、M5は「マイクロファイブ」のことです。こちらはとても小さくて携帯性に富んでいます。まさに携帯電話くらいの大きさなので、常に持ち歩きたい人におすすめです。でも小さいので、あんまりリファイルをたくさん挟めないんじゃないかって心配な方は、リング径の大きなものを選ぶと良いです。

M5は11ミリリングが多いんですが、13ミリや15ミリのものもあります。A5サイズだと40ミリなんてのもありますよお。

あとは素材です。本革やビニールなどいろいろありますが、これは好き好きですね。私の推しは本革です。経年変化を楽しむのもシステム手帳の醍醐味ですからね。毎日、愛でて育てています。皆さんもぜひ、システム手帳をお迎えしてみたいはいかがでしょうか。

第2問

【通訳場面の説明】

市民対象の教養講座で「少子化問題」について取り上げています。きこえない人も数名参加しています。

【問題文】

今、社会では「子ども」や「子育て」について大きく取り上げられています。その中でも特に耳にするのが「少子化」という言葉。実際のところ、少子化にはどんな要因があるのでしょうか？

厚生労働省によると、去年生まれた子どもの数は79万9,728人と、1899年の統計以来、初めて80万人を下回り、過去最少を更新したことが分かりました。

一昨年より4万3,169人減少し、出生数が7年連続で減少しつつあります。

あ、ちなみにこれは今年2月の速報値ですね。

少子化の要因としては、主に「結婚・出産に対する意識の変化」「経済的な不安」「子育てに対する負担感増大」「子育て環境の整備の遅さ」など複雑に絡み合っていると考えられます。

厚労省は「社会や経済の基盤が大きく変わる危機とも言える。関係省庁と連携しながら対策に取り組んでいきたい」としています。

それでは、少子化問題を解決するにはどうしたらいいのでしょうか？ 今からグループに分かれてディスカッションしましょう。